

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年6月18日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年5月18日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ハワイ大学ヒロ校(日本語名) University of Hawaii at Hilo(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年8月~2025年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬~7 月下旬 2 学期: 9 月中旬~2 月上旬	1 学期: 8 月下旬~12 月上旬 2 学期: 1 月上旬~5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	2,781 人
創立年	1970 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (\$アメリカドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	6,300	945,000 円	1 学期あたり\$3,150
食費	5,318	797,700 円	\$2,594(秋学期)+\$2,724(春学期)
図書費	0	0 円	
学用品費	27	4,050 円	教科書代(2 冊分)
携帯・インターネット費	180	27,000 円	Mint Mobile(12 months)
現地交通費	0	0 円	一応、ヒロ市内を巡るバスが運行していません(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	0	0 円	
医療費	51	77,770 円	ワクチン接種費用
保険費	1,798	269,710 円	形態:明治大学の保険(¥95,260)と留学先大学の保険(\$1,163)
渡航旅費	1,438	215,800 円	往復¥121,340+変更費¥94,460
ビザ申請費	535	80,250 円	\$350(SEVIS 費)+\$185(ビザ申請費)
雑費	8	1,200 円	デジタル成績証明書申請費
その他	247	37,050 円	大学施設費
その他	4,000	600,000 円	その他生活費(6 万円/月換算)
合計	\$19,902	3,055,530 円	\$1=¥150 換算(\$は小数点以下切り捨て)

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田 目的地:ヒロ 経由地:ホノルル 復路 出発地:ヒロ 目的地:羽田 経由地:ホノルル
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:ハワイアン航空 料金:¥121,340 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:JTB) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Hale Alahonua) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
自身の「留学近況報告書」から抜粋: “UH Hilo University Housing”で検索→“Incoming UH Hilo students start here”をクリック→住みたい寮を決めて “Apply Today”をクリック→“Login”で自分のアカウントにログインしてから“HILOHAWAII Student SSO Login”をクリック →“Housing Application”をクリックして個人情報を入力→申し込み完了
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私の滞っていた Hale Alahonua ではそれぞれ部屋の中に個室が用意されており、他の寮と比べて最低限のプライベートが確保されている寮だったので防犯上のトラブルはありませんでした。部屋にもよりますが、あらかじめゴミ箱や枕、トイレトーパーがセットされたりしています(正直そこら辺は運です)。寮の問題点としては部屋同士の壁が薄いからルームメイトやお隣さんの声がよく聞こえるので、よく騒音トラブルに悩まされました。私はそういったトラブルが起こった際は直接ルームメイトに声をかけたり、寮の事務の人に相談してもらっていました。私のルームメイトは、私が困っていることを伝えれば改善してくれる人だったのでルームメイト間のトラブルはたいていその場で解決していました。留学中はこういったトラブルに備えて積極的に行動する癖を身につけることがとても大切です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例:現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:3 月頃に学校近くのショッピングセンターにて銃撃事件が発生したが、数日後に犯人は逮捕。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

例えば、3 月の銃撃事件の際は注意勧告や現状報告のメールが Gmail に頻繁に届いていました。詳しい情報などは自分でネットで調べたり、友達に聞いたりしていました。

留学中私は犯罪に巻き込まれるようなことはありませんでしたが、友達から大学に停めていた自転車が盗まれたという話があったので、学内でも基本的に貴重品等は肌身離さず持っていた方が良いと思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内をはじめ、寮にもしっかり Wi-Fi 設備が完備されていたのでインターネットが使えないといった問題はありませんでした(少なくとも Hale Alahonua は Wi-Fi がしっかり繋がっていました)。ですが、使い続けるためには定期的にユーザーネームとパスワードの入力が必要なため、それに気づかずいつの間にかギガを使い果たしていた、ということは友達の間で起きていました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

買い物等は全て、事前に持参していた現金とクレジットカードで済ませていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

一応日本食は Target や Walmart などのスーパーで売られてはいますが、どれも日本と比べると高いのでもし「日本食(お菓子含む)を食べないとやっていけない!」という人はあらかじめ持っていくと良いと思います。いざという時は現地の友達へのプレゼントにもなります(笑)。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
29 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:一部、“prerequisite”を満たすことが条件の授業あり。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Human Comm in Diverse Society	多様化社会におけるコミュニケーション
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	秋学期(8-12月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Van Winkle Dana Jean
授業内容	人はどのように他者とコミュニケーションを図るのか、そしてその種類についてを中心に学ぶ。
試験・課題等	Journal Entry(週課題)10回、Project(中間課題)2回、Exam(中間・期末試験)2回の合計点で成績が決定。 中間課題はプレゼンがメインで、1回目はインタビュー、2回目は映画分析についての発表でした。
感想を自由記入	試験はオンライン上で行われ、授業の復習をしっかりとしていれば点数が取れるものでした。中間課題はプレゼンだったため、私の英語が先生や現地の子に通じるかとても不安でしたが、事前に練習して何とか乗り切ることができました。プレゼンの内容自体は「インタビューから学んだこと」や「自分の好きな映画と授業内容を関連づける」といったもので、結構自由だったため作っていてとても楽しかったです！

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Composition/Non-Native Tutorial	非英語話者のためのエッセイ作成
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	秋学期(8-12月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dumanig Francisco
授業内容	Argumentative Essay や Rhetorical Analysis などの様々なエッセイの書き方を学ぶ。
試験・課題等	Writing Assignments(エッセイ課題)、Research Writing(リサーチ課題)、Attendance(出席)などの合計点で成績が決定。 エッセイ課題は、その週に学んだエッセイのフォーマットに基づいて特定のトピックについて約800字のエッセイを書きます。リサーチ課題はいわゆる期末レポートのようなもので、自分が興味を持った分野について約2,000字のレポートを書きます。
感想を自由記入	正直この授業が一番きつかったと思います。1学期間でたくさんの論文の書き方を学べる分、課題の量が多かったため毎週一生懸命取り組んでいました。リサーチ課題は実質研究のようなものだったため、参考文献の他にも友達にアンケートを取ってデータを集めたりして、完成までかなりの時間を要しました。ですが、大変な分先生がアドバイス等で手厚くサポートしてくれたので、かなりやりがいを感じる授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
American Culture Through Film	映画から見たアメリカ文化
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	秋学期(8-12月)
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教授	Lillian Garcia
授業内容	授業内でアメリカ映画を見て、そこから学んだこと、その映画で見られたアメリカ文化や社会問題についてディスカッションする。
試験・課題等	Active Participation(出席・ディスカッション)、Homework(課題)、Culminating Project(最終課題)の合計点で成績が決定。 最終課題はグループで自分たちの国の文化を反映した映画を選んで、それについて分析、発表というものでした。
感想を自由記入	アメリカ映画を見て、背景にある社会問題についてディスカッションする授業で、みんな自由に発言していました。少人数のクラスだったため発言する機会が多く、自分にとっては英語で自分の意見を伝える良い練習になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Kuleana & Community	ハワイ島の「クレアナ」とコミュニティ
科目設置学部・研究科	IS
履修期間	秋学期(8-12月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Kawelu Kathleen
授業内容	ハワイ島の文化や歴史、神話などを講義とフィールドワークを通して学ぶ。
試験・課題等	Attendance & Participation (出席、積極的な授業参加)、Assignments(課題)、Final Project (最終課題)などの合計点で成績が決定。 課題は、授業やフィールドワークを通じて自分の学んだことなどをノートにまとめて提出する形のものでした。最終課題については、これまでの授業で学んだことを Word にまとめ、ハワイの慣用語の中から自分の気に入ったものを選んで理由を書くというものでした。
感想を自由記入	基本的に講義中心の授業でしたが、学期中に約4回ほどフィールドワークの機会がありました。大学内の時もあれば、ヒロから遠く離れた地域で農作業を体験するものもありました。先生もユーモアあふれる方でとても親しみやすかったです。ハワイ島の伝統文化を学ぶにはうってつけの授業だと思います！

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Gender & Disability in Manga	漫画におけるジェンダー・ディサビリティ
科目設置学部・研究科	JPNS
履修期間	秋学期(8-12月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Yoshiko Okuyama
授業内容	漫画を通して日本のジェンダーと障がい問題を学ぶ。
試験・課題等	Discussions(ディスカッション)、Quizzes(クイズ)、Essay(最終エッセイ)、Final Exam(期末試験)などの合計点で成績が決定。 ディスカッションでは毎週先生から指定された漫画の章(英語版)とテキストを読み、そこから読み取れる漫画の表現技法などを自分の文章でまとめます。エッセイでは先生が指定した漫画の中から好きな漫画の一つを選び、そこで見られる表現技法とテキストの文章との関連性を約1,600字でまとめます。
感想を自由記入	オンラインで行われる、リーディングとライティングが中心の授業でした。もともと漫画が好きで、ジェンダーの分野に興味があったので履修しました。ディスカッションで読むテキストの内容が面白く、結構読み応えがあったので自分のリーディング能力の向上に役立ちました。授業内容も、漫画を通して日本では同性婚やトランスジェンダー、障がいを持つ人たちがどのように見られているのか、現代日本社会において彼らがどのような立場に置かれているのかということに焦点が置かれており、ジェンダーとディサビリティの問題について深く知ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Theories of Human Comm	コミュニケーション理論入門
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	春学期(1-5月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Randy Hirokawa
授業内容	私たちが無意識にとるコミュニケーションの基礎理論を学ぶ。
試験・課題等	Exam(試験)2回、Final Paper(期末レポート)、Final Exam(期末試験)の合計点で成績が決定。 試験は、期末試験を含めて全てオンライン上で行われます。期末レポートはこれまでに学んだ理論を日常生活の出来事に当てはめ、分析するというものでした。
感想を自由記入	授業はコミュニケーションの基礎理論についての内容でしたが、先生が自身の体験談や具体例を交えながら説明してくれたので話の内容がスッと頭の中に入ってきてとてもわかりやすかったです。また、気さくな先生だったので授業は終始和やかな雰囲気でした。試験は、授業で学んだ理論について事前に復習していれば必ず平均点以上は取れるものでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Hawai'i on Screen	映画産業におけるハワイ
科目設置学部・研究科	ENG
履修期間	春学期(1-5月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	Leanne Day
授業内容	戦前から現在までのハワイの映画産業の発展と、ハワイを舞台にしたハリウッド映画の問題点を、文献を参照しながら実際に映画を観て分析する。
試験・課題等	Group Work(グループワーク)、Reading/Film Responses(リーディングレスポンス)3回、Midterm(中間試験)、Final Paper(期末レポート)などの合計点で成績が決定。 授業はディスカッション中心に行われ、1ヶ月に1回の頻度でReading Responseという、授業の感想シートのようなものを提出していました。中間試験はこれまでに読んだ文献の内容や用語を中心とした記述式の問題でした。最終課題はハワイを舞台にした映画やアニメを選んでそれについて発表、レポートを書くといったものでした。
感想を自由記入	この授業は予習のリーディングの量が多く、内容もオリエンタリズムなどの抽象的なピックを取り扱っていたので理解するのに苦戦しました。ディスカッション中心の授業で、予習の段階で映画とテキストの内容を頭に入れた状態で授業に臨むことが前提だったため、まずテキストを理解するのにかなりの時間を費やしました。そこから自分の意見をまとめて授業内で説明するので、留学生の私にとっては大変な授業でした。先生の解説を聞いても内容が理解できなかった場合は、授業が終わったタイミングで先生に質問しに行くなどして何とか置いてかれないように努力しました。授業内容自体は私が全く知らない分野だったので、毎回新鮮な気持ちで授業を受けていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Linguistics		言語学入門
科目設置学部・研究科	LING	
履修期間	春学期(1-5月)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Yumiko Ohara	
授業内容	言語学の分類や、言語分析で使用されている形態論や音韻論などを学ぶ。	
試験・課題等	Attendance(出席)、Assignments(課題)、Tests(中間試験と期末試験)2回、Reflection Paper(振り返り)などの合計点で成績が決定。 毎週の課題として、授業プリントにある問題を解く課題が出されていました。試験は計2回あり、どちらもこれまでに学んだ用語の意味や応用問題を中心としたものでした。振り返りは授業を通してどのような内容が面白かったか、そしてそこから学んだことを約1,250字でまとめるというものでした。	
感想を自由記入	明治大学で学んだ言語学についてもっと知りたいと思い履修しましたが、先生と生徒間の距離が近く、授業内容もとても面白い授業でした。生徒とのコミュニケーションを大事にする先生で、質問にいった時も丁寧に答えてくれました。morphology や bilabial など、専門用語が多くて試験の時に覚えるのに苦戦しましたが、この授業を通して言語学についての知識を深めることができました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to Jpns & Chns Studies		日中研究入門
科目設置学部・研究科	LANG	
履修期間	春学期(1-5月)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Masafumi Honda	
授業内容	日本と中国を経済や政治、伝統という視点から学ぶ。	
試験・課題等	Project(最終課題)、Homework(課題)、Student presentation(最終課題のプレゼン)などの合計点で成績が決定。 課題は先生から提示された問いの答えを、期限内に自分の文章にまとめて提出するといったものでした。最終課題は自分が興味を持った授業内容についてをスライドと3-5ページ程度の文章でまとめ、それをクラス内で発表するというものでした。	
感想を自由記入	提示される課題の問いが、授業内容をしっかり把握できていないと完答できないもので、毎回回答するのに苦労しました。最終課題は学期の初めから段階的に進める形のものだったのでそこまで苦労はなかったです。中国と日本を、政治的側面、文化的側面などから比較する授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Japanese Mythology in Film	アニメ・映画から学ぶ日本神話
科目設置学部・研究科	JPNS
履修期間	春学期(1-5月)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンデマンド(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Yoshiko Okuyama
授業内容	アニメや邦画を通して日本の神話を学ぶ。
試験・課題等	Discussions(ディスカッション)、Quizzes(クイズ)、Essay(最終エッセイ)、Final Exam(期末試験)などの合計点で成績が決定。 ディスカッションでは毎週先生から提示された映画を鑑賞し、テキストを参照しながらその映画からわかる日本神話や伝統などを自分の文章でまとめます。エッセイでは先生が指定した映画の中から好きなもの一つを選び、そこで見られる日本の神話、文化伝統やテキストの文章との関連性を約1,600字でまとめます。
感想を自由記入	秋学期の「Gender & Disability in Manga」と同じく、リーディングとライティングが中心の授業でした。この授業のテキストも、日本の映画で見られる神話の要素についてをわかりやすく説明しており、ぱっと見ではわからないような映画の神話要素の意味を細かく分析しているので、読むたびに発見があって面白いと感じました。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ、リクナビ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

未定

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

自分は 1 年間の留学だったので、留学先で M-Career の就活面談を受けたり、ネットで就活について調べたりして就活の準備を進めていました。3 年時に夏インターンに参加する予定の人は、業界にもよりますが募集が早くて 4 月ごろから始まるので、大変にはなりますが早めに業界を絞って会社選びを始めた方が安心だと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	TOEFL 受験、留学プログラム選考
留学開始年	1月～3月	留学先大学へ出願
	4月～7月	学生ビザ申請・発行、予防接種
	8月～9月	渡航
	10月～12月	(秋学期)
留学/帰国年	1月～3月	(春学期)
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	



留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学を目指したきっかけとしては、まず単純に大学入学前から留学に行きたいという思いがあったからです。留学は言ってしまうと大学生の時でしか経験できない貴重なものです。その機会を失いたくないということから留学することを決めました。ハワイ大学ヒロ校を選んだ理由としては、「海外から見た日本」とはどのようなものかについて学びたいと思い、留学生を含めて海外からの学生を多く受け入れているハワイ大学ヒロ校はそれを学ぶ大学としてぴったりだと思ったからです。

アメリカは地域によっては治安の悪い地域がありますが、ハワイに住む人々は基本穏やかで優しい人たちでした。そのため、危ない場所等に行ったりしない限りは治安に関してはあまり心配はしなくて良いと思います。ですが、念のため夜はあまり出歩かない・貴重品は常に携帯する等、自分の身を守る上で最低限の警戒はした方が良いでしょう。

寮生活に関しては、基本的に大きなトラブル・犯罪に巻き込まれるようなことはありませんでした。ですが、先ほど書いたようにルームメイトとの騒音トラブルにはよく巻き込まれていました。私が住んでいた寮に住む学生さんは夜に部屋で友達と盛り上がるといった人が多かったため、22時になっても声が聞こえる、といったことは日常茶飯事でした。何なら夜中に音楽を大音量で流しながら車で寮に帰ってきた人もいます(笑)。寮は寮でルールがあり、トラブルに対応してくれる事務の方も寮内にいるのでインフラ含む寮の管理はしっかりとされていました。ですが、スプリンクラーの設備が壊れているのか、よく日夜問わず火災報知器が鳴っていました。寮の設備としては、一階部分に卓球などの娯楽場所や勉強部屋などが用意されていたため、友達と遊びたい時や一緒に勉強したいときによく利用していました。

学校生活に関しては、もちろん授業は全て英語で行われるため、最初の頃は先生の言っていることが聞き取れない・そもそも現地の子とどう接したらいいのかわからないなどで苦労しました。私は積極的に先生に質問をしに行ったり、クラスで現地の子に話しかけたりするなどして徐々に大学生活に慣れていきました。次第に現地の友達も増えて別の国からの留学生の子とも友達になることができ、一緒に星を見に行ったり出かけたりする時間を作ることができました。

最初はみんな、知らない土地に行ったら不安を感じるものです。どんなに性格が明るい人でも、どんなに成績優秀な人でも、自分の国の言葉や文化が通じない場所に行くとなんか心配になってしまうものです。私もそのうちの一人でした。留学への憧れはあったものの、実際に英語が通じるか不安、自分が場違いに感じそうで怖い、他の留学生が英語ペラペラすぎて劣等感を感じるのではないかとといった感情は留学に行く直前まで、何なら行っている最中にもありました。私は、個人的な意見にはなりますが、留学をする上で必要なのは「勇気」と「自信」を持つことだと思います。アンパンマンみたいなことを言っていますが、実際その通りだと留学の経験を通して思います。私は留学中、常に何でも「当たって砕けろ！」の精神でなんでも過ごしていました(ただ躍起になっていただけかもしれませんが笑)。授業中に分からないことがあったらとりあえず先生か誰かに聞いてみる、興味がないことでもとりあえず一回挑戦してみる。このように、自分にとって勇気が必要な行動を繰り返していけば不思議と自分の中で自信はついてくるものです。もし、今これを読んでいて留学をするか悩んでいる人は、結果はどうであれ「まずはやってみる」という姿勢を意識してみてください…！渡航前は書類審査や面接、渡航後も授業や課外活動など、思っている以上に留学は大変なことだらけです。この報告書が、少しでも留学したい人たちの役に立てれば良いなと思っています！応援しています！！